

真宗佛光寺派  
大阪教区・  
別院だより

# 大悲

第40号  
令和3年(2021年)  
1月1日 発行



世界をつなぐ 関西国際空港連絡橋（泉佐野市）

新型コロナウイルスの感染拡大は、今も収束が見通せない。一昨年、国際機関（IPBES）は地球の陸地の75%以上が姿を変え、湿地の85%が消失したと報告した。人類が自然界の隅々まで開発を広げた結果、野生動物の生息地を奪い、動物を宿主としていたウイルスが変異してヒトに感染し、パンデミックを引き起こす。

一方「直ちに命を守る行動を取つてください」と気象庁が緊急会見を行うような、自然災害が毎年のように日本列島を襲う。温室効果ガスの排出量の増大は地球温暖化を招き、気候変動により生存が脅かされている事態が今や世界中で起きている。

パンデミックと気候変動に伴う大災害は、どちらも人間による自然破壊を起因とする。

万物の命を平等にはぐくむこの大地から、人間の貪欲のままの歯止めなき経済活動に対し、レッドカードが突きつけられたと思う。解決のキーワードの一つは「少欲知足」ではないか。

（長田 譲）



がん 岸

ひ と う 到 彼

弥陀弘誓のふねのみぞ

光福寺 玉出宗順

私は何事においても自分の思ったよ

うに物事が進まないとき、頭の中は焦りや苛立ち、不安な気持ちでいっぱいになってしまいます。

### 自分で作つた思いに

ではなぜそのような気持ちでいっぱいいになつてしまふのでしょうか。

それは「親であれば子どもが泣いて

いる理由が分かつて、泣き止ませることができなければならない」とか「親としてこうあるべきである」など「こうでなければならない、こうあるべき」

という自分自身で作つた思いが、我が身をがんじがらめにしてしまうのです。

### 迷いの苦しみ

ある日、地下鉄車内でベビーカーに乗つて大きな声で泣いている赤ちゃんを見かけました。お母さんは懸命にあやしながらも周りを気にしている様子でした。

私も同じような経験があつたので、そのお母さんの、周りの人に対する迷惑をかけてしまつてているという焦りや、泣き止まない子どもへの苛立つ気持ちがよく分かりました。

詠まれました。

「自分の思い通りにならないという苦しみ、そして苦しみを消し去つてやろうとますます迷つていく日常は海のように果てしない。この海に遠い過去より沈んでいる私たちを阿弥陀如来の本願の船だけが私を乗せて必ず安樂浄土へ渡してください」とお説きになりました。

阿弥陀仏は私が苦しみや迷いに沈ん

でいても「苦惱するあなたを救わずにはおかしい」と喚びかけてくださつているのです。

そして本願の船に乗せていただくことで、苦しみや迷いの根本が「自分自身で作り出した思い」であつたという私の闇があきらかになるのです。

(令和3年1月)

そんな私に対して親鸞聖人は「生死の苦海ほとりなし ひさしくしづめるわれらをば 弥陀弘誓のふねのみぞのせてかならずわたしける」と和讃に

# 如是我が聞によぜがき

## お念仏の中の生活

滋賀北教区 和光寺 菅原良暢すがはら りょうちやう 師



の足元をお念仏に照らしていくだけ、今の生き方を確かめていくこと。

本山佛光寺のホームページ上にある「佛光寺チャンネル」のユーチューブ動画にて菅原師の法話を聴聞させていただきました。

### 無明闇

世界中の人々が新型コロナウイルスによって不安とストレスを抱えて暮らしています。しかし感染症そのものよりも、その不安やストレスによって、私たちが差別や偏見という形で他人を責める人間になってしまっていることが恐ろ

しいと感じている菅原師。 私たちは他人を責めるとき、たとえ自分が間違っていたとしても「自分は正しい」という思いを前提にします。 そして、その思いだけを頼りにし、分かつたつもりになつてゐる迷いの身を「無明闇」といいます。さらには、この

闇そのものがなくなるという ことではなく、光が差すこと で闇の中にいた自分、つまり自分本位に腹を立て、周りを傷つけていた自身に気づかされることはだとおっしゃいました。

### お念仏

一般的に「生活の中のお念仏」というと、衣食住がまずあつて、お念仏はその次といふことです。一方、タイトルの「お、自身の中の生活」とは、自分自身

ストレスを抱え、不満ばかり言う私の無明闇の姿を、お念佛中心の暮らしによつて明らかにしていただくことだと教えてくださいました。

### 聴聞して

菅原師がまとめとしておつしやつた「コロナ蔓延の今日だからこそ『お念仏の中の生活』というものを今一度大切に確かめさせていただくべきである」という言葉にうなづかされた法話でした。

# 大阪探検

## おおさか ななはか 大坂七墓



七墓巡りの様子(出典:郷土研究上方)



南濱墓地

(①画像・②写真の提供:陸奥賢<大阪七墓巡り復活プロジェクト>)

アクセスは左記の通りです。  
梅田(大阪駅付近)、南濱(中崎  
町駅付近)、葭原(天神橋筋六丁  
目駅付近)、蒲生(京橋駅付近)、  
小橋(上本町駅付近)、千日(難  
波駅付近)、鳶田(動物園前駅付  
近)。

(門川崇志)

令和2年8月13日、JR大阪駅北側の再開発地域で1500体を超える埋葬人骨が発見されたというニュースが報道されました。

この辺りは明治中頃まで「梅田墓」という大規模な墓地でした。江戸時代になり、大坂夏の陣で荒廃した大坂の復興事業の一として寺院や墓地を市街地周辺に集約する施策がとられました。梅田、南濱、葭原、蒲生、小橋、千日、鳶田の各墓地(諸説あり)を「大坂七墓」と総称します。

### 大坂七墓巡り

江戸時代中期から明治初期にかけて、盂蘭盆会(旧暦7月中旬頃)にこの七つの墓を巡って、無縁仏を供養することが庶民の間で流行しました。

この大坂七墓も都市の再開発により現存するのは南濱と蒲生だけです。南濱墓地は奈良時代の僧、行基が開いた日本最古の墓所、火葬場といわれています。行基はそれまでの土葬の風習を火葬へと導いた方でした。入り口には行基菩薩開墓碑や道引地蔵が安置されています。

全長約17キロ、徒步半日の行程を昔のロマンを感じながら一度歩いてみませんか。

うです。木魚や鈴などに合わせ念佛しながら、陽気に明るく夜通し歩きます。それはデートやりました。近松門左衛門や井原西鶴をはじめ、数々の上方文学にも取り上げられています。

### 南濱墓地

大悲④ 第40号

# ごえんさんを訪ねて

こうふくじ  
光福寺 (大阪市西成区) 玉出宗順 住職



大阪市西成区玉出西に建つ光福寺は、もともと住吉大社の東隣にありました。開基は嘉祥元（848）年、小野篁（平安前期の公爵・歌人）創建の古刹です。その光福寺の第27世住職を令和2年5月に継職された玉出宗順さんにお話を伺います。

——住職を継職された今の心境をお聞かせください。

正直なところ住職になつたという実感がまだないので、心境としては大きな変化はありませんが、責任感をひしひしと感じております。

エエ声ですね

——本山における法要儀式の主軸となる補導式務衆を務めておられますが、難しい大変なお役目ですよね。

「大阪教区は補導式務衆が少ないから早く試験を受けるように」と先輩に勧められ平成28年に補導式務衆になりました。

——住職を継職された今の心境をお聞かせください。

正直なところ住職になつたという実感がまだないので、心境としては大きな変化はありませんが、責任感をひしひしと感じております。

——声明だけでなく、雅楽の龍笛も吹かれますね。

——本山における法要儀式の主軸となる補導式務衆を務めておられますが、難しい大変なお役目ですよね。

「大阪教区は補導式務衆が少ないから早く試験を受けるように」と先輩に勧められ平成28年に補導式務衆になりました。



光福寺の本堂

——最後に住職として抱負をお聞かせください。

住職として法話をする機会も増えるのでしっかりと勉強することはもちろんですが、まずは仏法を聴聞する姿勢をきちんと持ちたいです。そして門徒さんと一緒に聴聞できる住職になりたいと思います。

また玉出という所は昔から芸人さんが住まっていたそうです。そんな土地柄でもあるので、すでに落語会を開いておられる先輩住職に教えてもらひながら、落語会を開催したいです。

(筆名 彰)

門徒さんと一緒に

■光福寺(こうふくじ)

〒557-0045

大阪市西成区玉出西2-2-18

電話 06-6651-1544

Fax 06-6651-1548

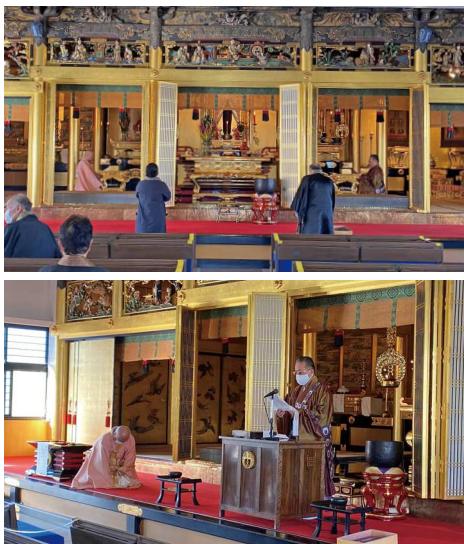
# 大悲トピックス

## ■大阪別院報恩講を厳修

本年は新型コロナウイルス感染予防のため、10月27日の大阪別院報恩講ならびに教区物故者追弔会は、内勤めとさせていただきました。

ご門主のお下向は叶いませんでしたが、文書による「おことば」を賜り、中井賢隆教務所長に代読いたしました。  
法要は短縮となりましたが、ご門徒、今年の追弔会のご親族、教区内僧侶でお勤めして「おことば」を有り難く拝聴しました。

(大阪別院輪番 葦名 彰)



上 お勤め 下 「おことば」の代読

門川崇志  
(佛青懇和会会長)



莊嚴や作法についてお話しされる隅谷師

10月23日、大阪別院において第2回佛青懇和会研修会が開催されました。研修に先立ち、報恩講にむけて仏具おみがきをしました。今年はコロナの影響で三密を避け、時間短縮のために花瓶のみを磨きました。

研修では、隅谷俊紀師に「報恩講のお勤め」と題し、ご講義いただきました。実際に内陣の中での香炉、燭立、花瓶や輪灯など、佛光寺派仏具の細かな特徴や、法要ごとの莊嚴の作法などを、豆知識を交えながら教えていただきました。

さらに登札盤作法を、参加者一人一人が実

際に行う形でご指導いただきました。見聞きました。

るだけの講義とは違い、実践的

で、大変学ぶところの多い研修会となりました。

(佛青懇和会会長)

御本山 近用達

株式会社 川勝法衣店

フリーダイヤル 0120-075-055  
(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入  
電話(075)371-0367(代)  
FAX(075)371-5088

表具 八木米寿堂

御本尊掛軸修理 絵画、書の表装  
〒600-8073  
京都市下京区柳馬場通仏光寺上る  
tel 075-351-2853 fax 075-352-3258

本山佛光寺 御用達

石の総合メーカー  
株式会社 石留石材

ホームページ  
<http://www.ishitome.co.jp>  
本社:京都市中京区堀川御池角  
TEL 075-841-1149 FAX 075-812-5826

- 大正三年創業の信頼と実績 -

石留石材株式会社

各種石塔・石仏・記念碑  
寺社建築石材まで

○ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯PHS OK

0120-53-5578

[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

人工芝施工・内外装工事・サイン・ディスプレイ・テント

Kyowa

協和産商株式会社

<https://www.kyowa-ss.co.jp/>

本社:大阪市東住吉区今川18-1-14  
TEL:06-6702-5722 FAX:06-6702-5732

# だいひ 絵日記

- 10月 13日（火）大悲の会編集会議（第40号読み合わせ）
- 10月 23日（金）**佛青懇和会**大阪別院仏具おみがき①
- 10月 23日（金）**佛青懇和会**研修会（報恩講の作法ほか・講師：隅谷俊紀 師）②
- 10月 27日（火）**大阪別院**報恩講（内勤め）
- 11月 5日（木）大悲の会編集会議（第40号読み合わせ）
- 12月 9日（水）**法友会**研修会【中止】  
(親鸞におけるイコノグラフィー・講師：安藤章仁 師)
- 12月 19日（土）**佛青懇和会**研修会【中止】(仏画を学ぶ・講師：飯田友子 師)
- 12月 25日（金）大悲の会編集会議（第40号発送作業・第41号内容検討）  
(法友会=住職会、佛青懇和会=青年会)



## ■誌面広告募集

企業・団体・寺院の広告  
を誌面に掲載させていただきます。

1区画(55mm×40mm)、掲載  
1回につき5,000円です。

創業天保元年 伝統工芸 京仏壇・京仏具  
に に 株式会社 **若林佛具製作所**

文化財修理 社寺内装・外装工事  
株式会社 **若林工芸舎**  
京都本社/京都市下京区七条通新町東入  
☎(075)371-3131㈹ FAX(075)371-3140  
フリーダイヤル ☎ 0120-37-8585(各店共通)  
東京支社・築地店・札幌店・仙台店・福岡(営)  
ホームページ <https://www.wakabayashi.co.jp/>  
Eメール [info@wakabayashi.co.jp](mailto:info@wakabayashi.co.jp)

## 和奏の会 翠笛会

寺院のイベントに邦楽(尺八・  
筝)出張演奏いたします。  
曲目はリクエストできます。  
事務局:阪南市新町 宝林寺  
電話 072-472-1414  
<http://homepage2.nifty.com/suiteki/>

## 協 賛

### 佛青懇和会

大阪教区の青年会  
(会長:門川崇志)

## 協 賛

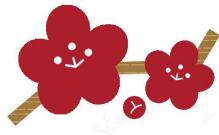
### さつき会

大阪教区の坊守会  
(会長:木村愛子)

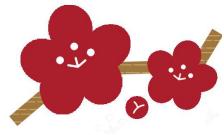
## 協 賛

### 法 友 会

大阪教区の住職会  
(会長:佐々木太一)



どなた様でもお参りいただけます



## 法要・法話会のご案内

### 大阪別院修正会

1月 2日（土）正午

### 大阪別院彼岸会

3月 17日（水）午後 2時

法話：葦名 彰師（妙圓寺）

3月 20日（土・祝）午後 2時

法話：長田 讓師（正念寺）

3月 23日（火）午後 2時

法話：葦名 彰師（妙圓寺）

### 大阪教区寺院で開催される法話会

◎高照寺（堺市北区・072-252-2122）

1月 16日（土）午後 3時

「聞法の集い」法話：菅原良暢 師

※詳細は各寺院にお問い合わせください

### 本山佛光寺茶所布教

毎日午前 7時半

※大阪教区布教使の担当は下記の通りです

1月 21日（木）～31日（日）

法話：佐々木太一 師



## 編 集 秘 話

難しいけれど大切なことを、簡単に分かりやすく伝えるのは難しい。簡単なことをややこしく説明するのは簡単である。今回、「ごえんさんを訪ねて」を担当して、人間の内面の良さを伝えるのはとても難しいと感じました。簡単に言葉で表現できないけれど有り難い法友が傍にいてくれます。(葦名)

## 編 集 後 記

令和5年5月、本山にて「慶讃法会（きょうさんほうえ）」が勤まります。10年前の「大遠忌法要」同様に団体参拝を予定しています。2年半後には、ご門徒の皆さんが密になってバスに乗り、マスクを外してお茶を飲みお菓子を食べ、賑やかに会話しながら本山に向かうことができる事を、ただただ願うばかりです。（隅谷）

大阪教区・別院だより『大悲』 第40号（冬号）

令和3年(2021年)1月1日発行（発行部数 2200部）

発行：大悲の会

事務所：佛光寺大阪別院内

〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-11-24 電話 06-6691-1362

郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」

大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会

長田 讓（会長）

隅谷俊紀（副会長）

寿栄松正顕（会計）

玉出宗順（会計）

門川崇志（監事）

佐々木太一

葦名 彰